

大仙市農業と食に関する活性化基本構想《概要版》

構想策定の趣旨

本市の強み

- 恵まれた自然環境から生み出された農産物
- 米、大豆、枝豆等の産地
- 発酵食品・酒等の食文化

一方で厳しい農業情勢

- 全国的な米の需要低下
- 担い手不足、高齢化

本構想のねらい

- 地域の担い手を確保
- 持続可能な強い農業
- 地域資源を最大限活用
- 大仙市全体が活気づく

構想の位置付け

※本構想の期間内において策定する次期計画も同様に関連付けます。

本市では、まちづくりの基本方針となる最上位の行政計画として「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定しています。そして、この計画の中から「人口減少克服・地方創生」の実現のために効果が高く、集中的に実施する取組を「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」としてまとめています。

本構想は、こうした基本構想・総合戦略、そして「第3次大仙市農業振興計画」のもと、「大仙市花火産業構想Ⅱ期」や「第2次大仙市観光振興計画」を関連計画に位置づけ、「農業と食」をテーマとして今やらなければならない農業の施策を特化して実施し大仙市全体が活気づく、基幹産業である農業を中心とした活性化構想として策定します。

構想期間

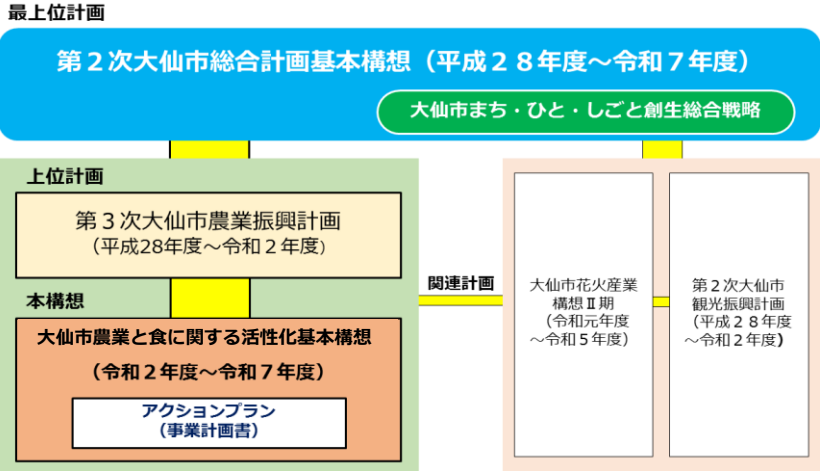
本構想は、長期的な視野を持ちながら実現を目指すこととしていますが、具体的事業は中期となる6箇年を1サイクルとして展開し、フォローアップを行います。期間中においても、社会経済情勢の変化に対応し、必要に応じて見直しを図ります。

大仙市は、地形や気候、水源等恵まれた自然環境を背景に、優れた農産物、雪国ならではの発酵食品、特色ある地酒等を産出する県内屈指の農業地域となっています。本市では、こうした恵まれた条件を活かし、地域農業をさらに振興しようと、平成28年度から令和2年度までの5年間で計画期間とした「第3次大仙市農業振興計画」を策定し、ニーズに即した効果的な施策・事業を展開してきました。

こうした取組と農業者の弛まない努力により、大豆については生産面積1200ヘクタールを誇る県内の産地を形成するに至ったほか、枝豆についても県内有数の産地となっております。また、複合農業、周年農業の推進により、各種野菜や花き、果樹などの生産も広がりを見せており、農業産出額も県内第2位の227億円となるなど、様々な成果が現れてきています。

しかしながら、取り巻く農業情勢は厳しく、全国的な米の需要低下や担い手不足、農業者の高齢化など様々な問題が顕在化しており、本市にとって重要な基幹産業である農業を守り、育み、次世代に確実に引き継いでいくためには、既成概念にとらわれない創意ある取組を分野を越えて重層的に展開していくことが求められています。

本構想は、地域の担い手を確保し持続可能な強い農業を目指し、本市の強みである農産物、農産加工品、地酒、発酵食品などの地域資源を最大限に活用し「農業と食」をテーマとする大仙市全体が活気づく裾野の広い産業構想として策定するものです。



構想期間

令和2年4月 ～ 令和8年3月

基本コンセプト

豊かな風土が育む「強い農業」の持続的発展と「美食産地 大仙」ブランドの確立・発信による裾野の広い産業の振興と地域経済の活性化

基本方針と基本目標

